

第 3 次石狩市環境基本計画策定市民会議

いしかりeco未来会議

本日のプログラム

| 時 間 | 内 容 |
|-------------|--|
| 18:30～18:35 | 開会挨拶 |
| 18:35～18:40 | 情報提供① これまでの会議の振り返り |
| 18:40～18:55 | 事例紹介 ー石狩市の事例紹介ー「教育・パートナーシップ」 |
| 18:55～19:00 | 意見交換の進め方 |
| 19:00～19:20 | 情報提供② 計画骨子（案）について |
| 19:20～20:15 | 意見交換 ①目指す環境像について考える ②目指す環境像を実現するために、個人やパートナーシップでできること |
| 20:15～20:25 | グループ発表 |
| 20:25～20:30 | まとめ |
| 20:30～ | 閉会 |

情報提供① これまでの会議の振り返り

■ eco講座 「地球目線から石狩市の環境を考える」 北海道大学 松島先生

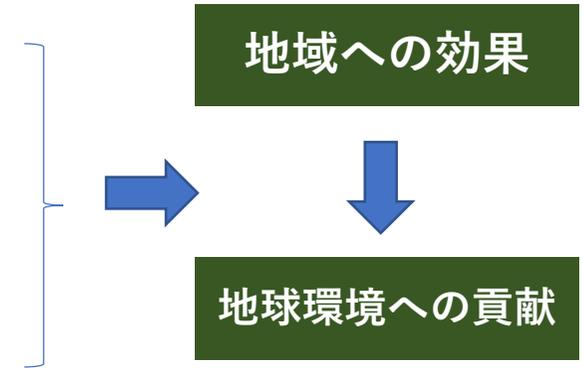
- 地球環境問題 **「気候変動」**により、日本でも直接的な影響を受けている
例えば・・・☆温暖化により、強い熱帯低気圧は今後も増加することが予想されている。その結果、激しい風雨により沿岸域での被害が増加する可能性がある。
☆沿岸域では海面上昇に高潮が重なることによる被害拡大、海面上昇による海岸浸食や砂浜の消失等が予想される。
- 未来へ向けた取り組みとしての考え方**「SDG s」**（エス・ディ・ジーズ）**「環境」「社会」「経済」**
- **グリーンインフラストラクチャー**：自然の持つ多機能性や、しなやかな自律的回復力などの特性を賢く活用するインフラ整備、国土の管理手法の新しい概念
- グリーンインフラとして、**石狩の海岸は自然堤防の機能を守る貴重な海岸**
- **「みどり」の機能**として「環境保全機能」「レクリエーション機能」「防災機能」「景観形成機能」
- **エシカル消費** = 地球環境や人、社会、地域に配慮した考え方

■ eco講座 「石狩市の未来の環境 - 低炭素と資源循環-」 北海道大学 石井先生

循環型社会 = 「資源保全」と「環境保全」

・「循環経済」の4つのステップ

- Step 1 「循環利用」の向上：資源の節約
- Step 2 「資源生産性」の向上：少ない資源から高付加価値物へ
- Step 3 「環境効率」の向上：環境負荷／売上げを小さく
- Step 4 「外部資金流出」の抑制：地域内資金循環へ



地域特性を踏まえ、地域内での「モノ」と「エネルギー」の循環

- 北海道の将来のエネルギーのあるべき姿
 - 論点① 受益者負担の原則 論点② 役割負担を考えるべき
 - 論点③ 北海道独自の目標とロードマップが必要
 - 論点④ 北海道ブラックアウトの教訓を活かすべき
 - 論点⑤ 電気：ネットワークの地域ブロック化とスマート化、そして、北海道全体でのスマート化へ
 - 論点⑥ 熱：次の100年のインフラ整備 論点⑦ 輸送：EV、FCVのシェア拡大とa
 - 論点⑧ 再生可能エネルギーから貯蔵型エネルギーへの変換
 - 論点⑨ エネルギー基地としての北海道 論点⑩ 人材育成

こんな姿になっていたらいいな。
という“まち”になるために、
地域が一体となって
様々なことに取り組んでいく。

20年後の姿



未来の子どもたち、地域の人たちが、安心して暮らせるために、
今、私たちが考える。

災害に
強いまち

市民の意
識が高まっ
ているまち

ごみや廃熱の
利活用を推進
しているまち

積極的に
自然と触れ
合えるまち

教育から環境
を考える機会
を創出できる
まち

ボランティア活
動が活発化し
ているまち

再生可能エ
ネルギーの利
活用を推進
しているまち

次世代により
良い地域を受
け継げるまち

人々が触れ
合い、笑顔
のあるまち

ゴミが無く
キレイな
まち

身近なところ
から環境問題
に取り組める
まち

市民への情
報発信と理
解がなされて
いるまち